

5月の歴史カレンダー

★5月に何が起こったか

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
細川一新日窒水俣工場付属病院長、水俣保健所に報告。一水俣病の公式確認(1956/S31)	東京訴訟提訴。(原告東京、神奈川在住申請者6人)(1984/S59)	憲法記念日	みどりの日 ◆熊本県水俣湾公害防止事業所開設(1976/S51) ◆水俣病互助会(田上義春会長)、「水俣病40年の今をみつめる集い」を水俣市体育館で開催(1996/H8)	こどもの日	振替休日 吉井水俣市長、北京大学(中国北京市)で「水俣病の経験と教訓」と題して講演(1999/H11)	日窒水俣工場に第一期アセトアルデヒド合成酢酸設備稼働開始(1932/S7)
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
	三木環境庁長官水俣視察(1973/S48)		小池環境大臣が水俣病を包括的に検証するため私的に設置した「水俣病問題に係る懇談会」の初会合(環境省)(2005/H17)	◆水俣市、住民健康調査を開始。(50～56年度)対象者37,145人(1975/S50) ◆運輸省第四港湾建設局八代港工事事務所水俣分室開設(1976/S51)		
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
		梶木環境庁長官、水俣病に関する関係閣僚会議において、チッソに万が一不測の事態が発生した場合においても、熊本県財政にいささかの支障をもきたさないよう国側において十分な対応策を講ずる趣旨の発言(1983/S58)	チッソ水俣工場、アセチレン法アセトアルデヒド製造を停止(1968/S43)	◆水俣病被害者・弁護団全国連絡会議が、チッソと未認定被害者救済の政府・与党解決策に基づき、紛争終結・一時金支払いのための協定に調印(1996/H8) ◆チッソ株の決算で34年ぶりに黒字(2005/H17)		水俣病認定申請者等85人、国、県、チッソを相手どって「水俣病国家賠償等請求訴訟」(第3次訴訟)を熊本地裁に提訴(1980/S55)
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
熊大第二次水俣病研究班が「研究結果報告「水俣湾とその周辺の魚介類は未だ危険、多量に摂取すると発病のおそれ」(1973/S48)	岩垂環境庁長官、全国連の訴訟終結を受けて会見—政治や行政の責任について言及、謝罪(1996/H8)				◆水俣市、熊大入院患者の付添い人に食費月額4,000円支給を決定(1957/S5) ◆患者家庭互助会—任派とチッソ、水俣病補償処理委員会のあっせん案を受諾「和解契約」を結び(1970/S45)	水俣市奇病対策委員会を設置し、患者の措置、原因究明にあたる。(1956/S31)
29日	30日	31日				
水俣市、水俣病多発地区に住む漁民と家族の毛髪水銀調査を継続実施(隔年実施、期間10年)を表明(1990/H2)	熊大、鹿児島県の医師グループ、札幌市の日本衛生学会で「四肢末しよの感覚傷害だけでも水俣病と判断できる」と発表(1996/H8)	新潟大学が新潟県に有機水銀中毒症(水俣病)の発生報告。—新潟水俣病の発生の公式確認—(1996/H8)	新日窒水俣工場、社内に水俣奇病の研究組織設置(1957/S32)	水俣市漁協、水俣湾内漁獲自主規制を全面解除(1964/S39)		